

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム

コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 佐藤 一郎

TEL 06-6882-0851

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	7,206	20.1	779	56.7	761	57.1	426	60.7
25年12月期第1四半期	6,002	9.8	497	7.4	484	13.7	265	43.7

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 412百万円 (37.4%) 25年12月期第1四半期 299百万円 (51.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	43.77	39.06
25年12月期第1四半期	28.88	24.45

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	17,414	5,047	28.8	515.81
25年12月期	15,820	4,876	30.7	498.42

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 5,023百万円 25年12月期 4,853百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。なお、平成26年12月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,509	17.9	1,007	11.1	976	10.5	487	5.1	50.01
通期	30,523	13.7	2,544	19.5	2,490	19.6	1,217	15.2	124.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、平成26年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	9,738,200 株	25年12月期	9,737,800 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	— 株	25年12月期	— 株
-----------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	9,737,929 株	25年12月期1Q	9,181,800 株
-----------	-------------	-----------	-------------

(注)当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、海外経済が緩やかに回復していることに加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要と建設投資の回復などを受けて、製造業・非製造業ともに改善いたしました。ただ、消費者態度指数は3ヶ月連続で下落しており、物価上昇、消費税率引き上げに対する消費者の警戒感は強く、消費者のマインドは厳しい状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、売上高は徐々に回復の兆しを見せ始めましたが、2月の太平洋側を中心とした記録的な大雪の影響や消費税率引き上げに対する消費者のマインドの低下、人件費や原価の上昇もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、当第1四半期連結累計期間におきましても既存店事業の全体的な底上げ、並びに販促活動の強化に注力いたしました。「まいどおおきに食堂」を中心として「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「つるまる」をはじめとする全ブランドの業績改善に全社一丸となって取り組むと同時に、不採算店舗の撤退を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高72億6百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益7億79百万円（前年同期比56.7%増）、経常利益7億61百万円（前年同期比57.1%増）と増収増益となりました。一方、減損損失等の特別損失34百万円を計上したため、四半期純利益は4億26百万円（前年同期比60.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<直営事業>

直営事業におきましては、「まいどおおきに食堂」を中心に全ブランドの既存店業績向上の実現に向けた組織体制の構築に注力した結果、既存店売上高が34か月連続の増加となり、上場している外食企業としての国内最長記録に並ぶことができました。

また、新規出店につきましては、「神楽食堂 串家物語」の大型商業施設への出店に注力する一方、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」「つるまる」等各ブランドの立地等の条件を厳選した確実な出店を行い、成果をあげつつあります。

以上の結果、当連結会計年度中の新規出店は11店舗、直営事業全体の売上高は68億13百万円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は9億58百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例・問題点の共有を進めることにより更なる集客力の向上を図っております。

今後も加盟企業様との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は3億92百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は2億55百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

当社グループの平成26年3月末時点の店舗数は688店舗（直営店（国内）348店舗、直営店（海外）6店舗、F C店（国内）333店舗、F C店（海外）1店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 （国内）	直営店 （海外）	F C店 （国内）	F C店 （海外）	合計
まいどおおきに食堂	131	4	301	—	436
神楽食堂 串家物語	63	—	12	—	75
手作り居酒屋 かっぼうぎ	37	—	15	—	52
浪花麺乃庄 つるまる	50	—	4	1	55
その他	67	2	1	—	70
合計	348	6	333	1	688

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は15億94百万円増加し、174億14百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から10億76百万円増加し、固定資産は5億21百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、借入の実行に伴う現金及び預金の増加11億91百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は新規出店に伴う有形固定資産の増加4億1百万円、敷金及び保証金の増加1億37百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して14億23百万円増加し、123億67百万円となりました。これは主に借入の実行による長期借入金の増加額20億60百万円によるものであります。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び配当金の支払い等により、50億47百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の業績予測につきましては、平成26年2月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,825,378	4,016,692
売掛金	266,880	239,935
たな卸資産	130,481	118,976
繰延税金資産	105,775	105,775
預け金	826,523	731,238
為替予約	10,290	4,626
その他	367,168	391,660
貸倒引当金	△2,121	△1,892
流動資産合計	4,530,377	5,607,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,493,265	8,777,663
減価償却累計額	△3,587,168	△3,687,982
減損損失累計額	△321,509	△256,222
建物及び構築物(純額)	4,584,587	4,833,457
工具、器具及び備品	3,167,317	3,319,827
減価償却累計額	△2,208,256	△2,285,157
減損損失累計額	△41,377	△29,418
工具、器具及び備品(純額)	917,683	1,005,252
土地	359,490	359,490
建設仮勘定	717,356	794,245
その他	267,200	264,573
減価償却累計額	△174,288	△183,423
その他(純額)	92,912	81,149
有形固定資産合計	6,672,029	7,073,594
無形固定資産	76,969	72,126
投資その他の資産		
投資有価証券	214,907	206,515
繰延税金資産	338,218	341,205
敷金及び保証金	3,412,683	3,550,100
その他	628,783	621,284
貸倒引当金	△82,055	△81,644
投資その他の資産合計	4,512,537	4,637,461
固定資産合計	11,261,536	11,783,182
繰延資産	28,434	24,654
資産合計	15,820,348	17,414,849

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,083,457	1,080,976
1年内返済予定の長期借入金	1,179,711	1,608,487
未払金	1,011,681	1,120,793
未払法人税等	663,946	319,458
賞与引当金	73,298	38,190
繰延税金負債	3,907	1,756
資産除去債務	19,566	13,607
訴訟損失引当金	10,000	25,000
その他	1,401,141	1,290,225
流動負債合計	5,446,709	5,498,494
固定負債		
社債	1,759,999	1,499,999
長期借入金	2,593,297	4,224,948
リース債務	68,142	58,577
繰延税金負債	7,902	8,271
資産除去債務	671,667	697,038
その他	396,368	380,337
固定負債合計	5,497,378	6,869,174
負債合計	10,944,088	12,367,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,457,895	1,458,098
資本剰余金	1,337,641	1,337,844
利益剰余金	2,071,589	2,254,325
株主資本合計	4,867,126	5,050,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,471	△40,875
繰延ヘッジ損益	6,382	2,869
為替換算調整勘定	15,509	10,791
その他の包括利益累計額合計	△13,578	△27,214
新株予約権	13,750	15,542
少数株主持分	8,962	8,584
純資産合計	4,876,260	5,047,181
負債純資産合計	15,820,348	17,414,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	6,002,462	7,206,610
売上原価	2,014,406	2,375,796
売上総利益	3,988,056	4,830,814
販売費及び一般管理費	3,490,821	4,051,491
営業利益	497,234	779,322
営業外収益		
受取利息	1,268	782
受取家賃	30,191	27,041
持分法による投資利益	10,030	—
その他	3,756	10,508
営業外収益合計	45,247	38,333
営業外費用		
支払利息	13,288	13,529
社債利息	7,032	4,541
賃貸収入原価	30,079	27,576
持分法による投資損失	—	1,288
その他	7,437	9,583
営業外費用合計	57,838	56,520
経常利益	484,643	761,135
特別利益		
投資有価証券売却益	1,134	—
固定資産売却益	1,689	—
その他	115	—
特別利益合計	2,939	—
特別損失		
店舗解約損	12,497	1,883
固定資産除却損	7,139	5,704
減損損失	6,477	11,904
訴訟損失引当金繰入額	—	15,000
その他	500	—
特別損失合計	26,614	34,492
税金等調整前四半期純利益	460,969	726,643
法人税等	195,160	300,556
少数株主損益調整前四半期純利益	265,808	426,086
少数株主利益又は少数株主損失(△)	652	△94
四半期純利益	265,155	426,181

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,808	426,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,395	△5,404
繰延ヘッジ損益	-	△3,513
為替換算調整勘定	19,146	△4,569
持分法適用会社に対する持分相当額	△463	△432
その他の包括利益合計	34,078	△13,919
四半期包括利益	299,886	412,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,211	412,545
少数株主に係る四半期包括利益	2,675	△378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,626,124	376,337	6,002,462	—	6,002,462
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,626,124	376,337	6,002,462	—	6,002,462
セグメント利益	656,887	242,245	899,133	△401,898	497,234

(注) 1. セグメント利益の調整額△401,898千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。

全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、6,477千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,813,742	392,868	7,206,610	—	7,206,610
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	6,813,742	392,868	7,206,610	—	7,206,610
セグメント利益	958,417	255,269	1,213,687	△434,364	779,322

(注) 1. セグメント利益の調整額△434,364千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。
全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては11,904千円であります。